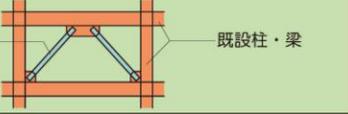
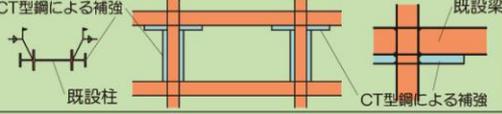
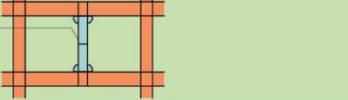
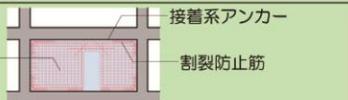


一般の耐震補強技術

当建物は上層階が鉄骨造、低層階が鉄骨鉄筋コンクリート造となっています。それぞれの補強方法について工法別に比較します。

場所	技術	工法	姿図	内容	効果	プランへの影響	コスト	工期	重量	
上層階 鉄骨造部分	既存	鉄骨造ブレース	補強ブレース		鉄骨ブレースの増設により補強。	◎	△	◎	◎	◎
		鋼版耐震壁	鋼板		鋼版とリブプレートで構成された耐震壁の設置による補強。 (外壁の開口部が必要な箇所へは適用できません。)	○	△	○	○	○
		柱・梁個材の補強	CT型鋼による補強		既存柱、梁断面を補強プレートを設置すること等により補強。	△	◎	△	△	◎
		耐震間柱	耐震間柱		地震力に抵抗する柱を間柱状に設置し補強。	△	△	○	○	◎
低層階 鉄骨鉄筋コンクリート造部分	既存	制震ブレース	制震ダンパー		エネルギー吸収能力のあるダンパーをブレース状に設置して補強。	◎	△	○	◎	◎
		鉄骨造ブレース	鉄骨ブレース		鉄骨ブレースの増設により補強。	◎	△	◎	◎	◎
		鉄筋コンクリート造耐震壁	RC耐震壁		鉄筋コンクリートによる耐震壁の増設補強。	◎	△	△	△	—
		柱の補強	炭素繊維シート		既存柱、梁断面の性能アップ。靱性を確保	△	◎	△	△	◎
	制震	制震ブレース	制震ダンパー		エネルギー吸収能力のあるダンパーをブレース状に設置して補強	◎	△	○	◎	◎